

## 多血小板血漿(PRP)療法施術説明同意書

多血小板血漿 (PRP) はご自身の血小板を濃縮した成分で、血小板に含まれる様々な成長因子が機能を発揮することで、皮膚細胞からのコラーゲンやヒアルロン酸を増産させ張りやしわの改善を期待しています。PRP療法は清潔操作で行われ、かつ自己血液であるために、他人からの病気がうつる、あるいは感染症を起こす心配は基本的にありません。

### 説明

- PRPの注入液を作製するためには、通常30mlの静脈血を採血します。
- 静脈血採血による合併症はきわめてまれですが、失神、吐き気、静脈炎、内出血斑、神経損傷を起こす可能性があります。
- PRP注入液を作製するために、塩化カルシウムを血小板濃縮液と混合しますが、この操作は血小板を活性化し、成長因子を取り出すために必要不可欠なものです。この使用によって注入部位に一時的に熱感または赤みが出ることがあります。また、PRP注入後、腫れや再生認定内出血が起こります。
- 多血小板血漿 (PRP) 療法は、実施するにあたり認定再生医療等委員会 (特定非営利活動法人先端医療推進機構 認定再生医療等委員会名古屋 Tel: 052-745-6881) という委員会で、医学的、倫理的、及び科学的に妥当かどうかについて審議され、意見を得た治療です。また当該委員会では、本治療について、新しい効果や副作用等の重要な情報が得られた場合に、治療の継続可否の妥当性について継続的な審議等業務を行います。
- 当クリニックの多血小板血漿 (PRP) 療法は、厚生労働省に再生医療等提供計画を提出しています。
- 試料等の保管は行っていません。

### PRPの治療効果

- PRP注入は個人の治癒力を利用しているため、その治療効果に個人差があります。また、治療効果を保証するものではありません。また、症状によっては複数回の治療が必要となる場合があります。
- 類似の効果を得るための治療として、ヒアルロン酸注射やボトックス注射があります。PRPは自分自身の血小板から作成したものであるため、異物反応や感染のリスクが少ないというメリットがあります。また、その効果は数か月間持続します。

私は、\_\_\_\_\_様に対し、前述の処置の本態と目的および

その実施に関わる危険性を十分に説明しました。

医療機関名 あさもとクリニック皮膚科

管理責任者 医師 朝元 有美

医師の署名 \_\_\_\_\_ 日付 \_\_\_\_\_.

本治療へのご意見、ご質問、苦情などは遠慮なくご相談下さい。

あさもとクリニック皮膚科 電話番号 052-858-2552

## 同意

私は、PRP療法に対する同意を採血前であればいつでも撤回できること、PRP療法を受けることを拒否することは自由であることを知っています。またPRP療法を受けることを拒否すること又は同意を撤回することにより不利益な取扱いを受けることはないことを知っています。もし、治療期間中に疑問を持った場合には、医師に電話および診察で尋ねることができます。

## 治療費

私は、PRP療法を行うにあたり、以下の治療費を支払います。

治療費 83,500円

## 守秘義務

私の医学的情報は法律で要求される期間、秘密を守って保存されることを理解します。ただし、私個人を特定できないような情報は、私の許可がなくても、教育や研究に使用してもかまいません。

## この書類の理解

私は以上の処置とそれに伴う利点、危険性について完全な情報の提供を受けたことを確認します。決定まで十分な時間をかけ、決定は私の意思で行いました。

私は、PRP療法を受けることに同意します。

患者の署名 \_\_\_\_\_ 日付 \_\_\_\_\_.

付き添い者の署名 \_\_\_\_\_ 日付 \_\_\_\_\_.